

# 【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 (青森県)学生食堂での献血フェア

資料7-1

- 【1目的】大学での献血実施の際、ヘモグロビン濃度不足で献血できない学生が多いことから、学生の健康意識向上を図ることで10～20代の献血者を増やす。
- 【2内容】大学の食堂の協力を得て、一定期間に「献血フェア」と題し、鉄分豊富な特別メニューを提供していただいた。
- 【3実施日・場所】青森県立保健大学 7月6日～7月10日  
青森大学 9月24日～10月11日(期間中の毎週木曜に特別メニュー提供)  
青森公立大学 1月18日～1月22日
- 【4対象者】献血フェア実施校の学生



学食 × 献血 献血フェア  
IN青森県立保健大学  
7月6日(月)～10日(金)  
期間限定!特別メニュー!  
鉄分とって  
献血しよう!  
血液サラサラ親子の絆料 S:340円 M:380円  
鉄分たっぷりひじきご飯定食 350円  
ひじきご飯単品 S:170円 M:200円  
上記3点には「造血パワーアップ!ほうれん草の味噌汁」付き!  
血流改善! 単品 120円  
サラダ オクラと長芋の ネバネバサラダ  
2015年7月8日(水)  
青森県立保健大学に献血バスがやってきます!  
受付時間 9:45～11:00 12:30～17:30  
ご協力お願いします!  
青森県赤十字血液センター 青森県立保健大学 株式会社 城ヶ倉観光

ポスターデザイン



# 【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】

## （青森県）学生食堂での献血フェア

### 【5実施手順】

- ・大学の献血担当職員に献血フェアの企画を提案し、食堂を運営している企業の担当者を紹介していただいた。
- ・血液センターで基本となるメニューを提案し、食堂の栄養士の方に検討していただいた。
- ・血液センターで献血フェアのポスターやPOPを作成し、ポスターは大学の構内に掲示、POPは食堂の全テーブルに設置した。
- ・献血フェア期間内に大学へ献血バスを配車し、食堂内に献血推進用のパネルを設置した。

### 【6実施に際して苦労したこと】

- ・POPは手作りだったため、食堂内の全テーブル分（各大学100個ほど）を作成するのが大変だった。
- ・青森大学でレバーを使用した料理を提供したが、レバーが苦手な学生が多くて人気がなかった。

### 【7予算額】 経費0円

【8来場者】（献血者数） 青森県立保健大学64名受付 42名採血

※この他、期間中に献血ルームへいらした方11名

青森大学 47名受付 33名採血

青森公立大学 22名受付 21名採血

【9効果（評価）】医療系の学部がある大学や女子学生の関心が高く、効果が大きかった。

報道機関にも取り上げられ、献血への関心を広く喚起することができた。

### 【10改善点（又は問題点又は反省点）】

- ・実施期間が短かったので、血色素不足の解消効果はあまり見られなかった。
- 実施期間中だけでなく、日頃の食生活改善のきっかけとなることを期待し、継続的に実施したい。

### 【11今後の課題（又は今後の対応方針）】

- ・28年度は学生の関心を更に高められるよう、栄養学科の学生にメニューを考案してもらうなど学生を巻き込んだ企画を展開していきたい。

# 【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 （青森県）学生献血クリスマスキャンペーン

## 【1目的】

冬場の献血者数の増加を図り、若年層への献血の理解と協力を促すことを目的とする。

## 【2内容】

青森県学生献血推進連絡会による企画

ツリーのオーナメント作成、献血に協力してくれた方に景品があたるくじ引き

バルーンアート・着ぐるみによる献血のよびかけ

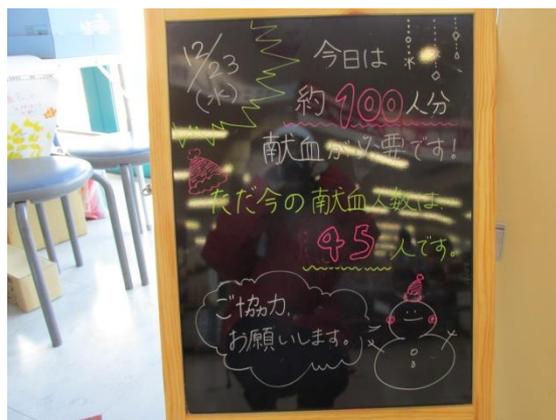
## 【3実施日・場所】

12月13日（日） サンロード青森

12月20日（日） イオンモールつがる柏

12月23日（水） イオンモール下田

## 【4対象者】……献血会場での買い物客



# 【平成27年度に取り組んだ献血推進事業】 （青森県）学生献血クリスマスキャンペーン

## 【5実施手順】

学生献血推進連絡会第4回、5回会議にてキャンペーン時の処遇品や独自イベント等について企画。

## 【6実施に際して苦労したこと】

学生が集まって事前準備する時間の確保に苦労した。

## 【7予算額】

献血協力者への記念品：120,000円

広告費（フリーペーパーに掲載）：350,000円

## 【8来場者】・・・172名（献血者）

## 【9効果（評価）】

学生によるバルーンアートの作成や着ぐるみで呼びかけを行ったことにより、買い物客の目を引き、献血に興味を持ってもらうことができた。

## 【10改善点（又は問題点又は反省点）】

学生ボランティアの人数が少ない会場もあったため、一人の担当する仕事量が多くなった。

会場によってはイベントスペースが狭く、献血者の処遇品の受け渡し等がうまくいかないことがあった。

## 【11今後の課題（又は今後の対応方針）】

学生ボランティアの人数を増やす。

献血者やより多くの買い物客がイベントスペースに集まりやすいよう企画調整する。

# 【平成28年度に取組予定の献血推進事業】 （青森県）はじめての献血キャンペーン

【1目的】 献血者の底辺拡大及びリピーターを増やす。

【2予定内容】 初回献血者の方へ、「はじめての献血協力カード」を配布。そのカードを持参し再度献血に協力いただいた方へ「オリジナルマグカップ」を進呈。

※献血経験者の方にも、初回献血者を連れて一緒に献血協力いただいた場合はカード配布。

【3実施日・場所】 平成28年1月10日～平成29年3月31日 青森県内の献血ルーム・バス

【4対象者】 献血未経験の方

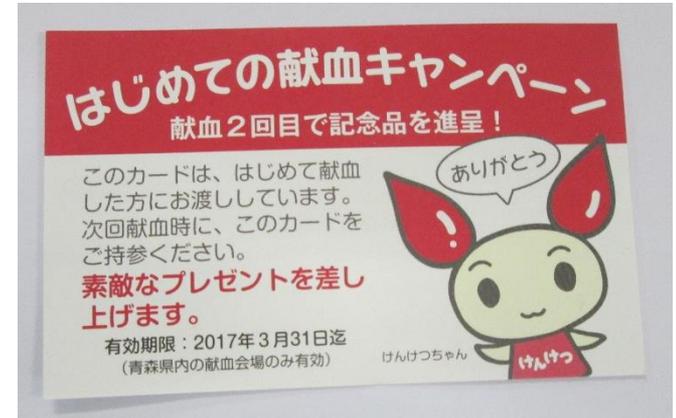
【5昨年度実績】 平成28年1月10日から「はじめての献血協力カード」を配布したが、平成27年度中に持ってきた方はいなかった。



ポスターデザイン



オリジナルマグカップ



はじめての献血協力カード

ご協力は、青森・弘前・八戸の献血ルーム、県内を巡回する献血バスでお願いします。献血バスの運行日程等、詳細は血液センターホームページをご覧ください。

青森県	弘前県	八戸市
青森献血ルーム (毎週金曜日)	弘前献血ルーム (CoCoSA)	八戸献血ルーム
(青い森公園内、日本赤十字4F)	(JR弘前駅前 大町タワシビル2F)	(駅前通り郵便郵便局内)

青森県赤十字血液センター  
キャンペーンに関するお問い合わせ：献血推進課 (TEL. 017-741-1512)

# 【平成28年度に取組予定の献血推進事業】 （青森県）はじめての献血キャンペーン

- 【6実施手順】
- ①記念品の購入、協力カード印刷の発注
  - ②ポスター、チラシの作成  
→各採血現場に掲示、チラシは献血バスでの実施事業所へ配布。
  - ③ホームページへ告知を掲載。
  - ④マスコミへのニュースリリースを作成し、キャンペーンについての報道依頼。

【7予算額】 407,160円  
（内訳）オリジナルマグカップ 324,000円（@324円×1,000個）  
協力カード印刷費 83,160円（@7.7円×10,000枚）

【8目標】 期間中、新規献血者6,000名の確保。

【9実施に向けた課題】

「キャンペーンを知って来た」という方が少ないので、今後はより効果的なキャンペーンにするための広報活動を展開しなければならない。